

卒業ホームラン (1)

二年

組

番 名前

① 典子と徹夫の会話の場面(40・31～42・10)から、智に対する徹夫の「監督としての思い」と「父親としての思い」を捉えよう。その際、判断の手がかりにした表現を文章中から抜き出して書いておこう。

監督としての思い	手がかりにした表現	父親としての思い	手がかりにした表現

② ①の場面から、典子が徹夫、智、典子自身についてどのように思っているかを捉えよう。

徹夫について	智について	典子自身について

③ 「一瞬言葉に詰まった後、徹夫の両肩から、すうっと重みが消えていった。頬が内側から押されるように緩んだ。」(46・39)とある。ここに描かれた徹夫の様子に着目して、このときの徹夫の思いを想像し、簡潔にまとめてみよう。

④ 「家族みんなで、ホームインしよう。」(50・25)とあるが、ここまでの作品の内容を踏まえて、このときの徹夫の思いを想像し、簡潔にまとめてみよう。